一月四日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

我要求達成するまで山海關から撤退せず
わが軍の事件解決方針

【山海關にて相澤特派員三日發】わが軍は支那軍の不法なる挑戰に已むなく膺懲手段を講じ一時山海關を保障占據して事件の解決を圖ることゝなつたが何柱國に對し
一、責任者として陳謝の意を表すること
一、事件再發防止解決案を提示すると共に山海關に支那軍を駐屯せしめざること
一、同地を緩衝地帶とすること
一、奉山鐵道を山海關まで延長し北寧鐵路から離脱せしめること
以上の條項を達成するまで日本軍は同地から撤退せぬとの案を提出した

積極的行動に出でず
支那軍が挑戰せざる限り

【山海關にて相澤特派員三日發】山海關における今次の我軍死傷者は約六十名に上つてゐる無暴なる支那軍の挑戰に對し遂に山海關を占據したが、今後再び挑戰し來たらざる限り我軍において積極的に出づることなく支那軍の反省を求めることに決した

出樣如何で斷乎處置

【天津四日發】山海關占據を以て軍事行動一段落といふべきか否かについては各方面共注視してゐるところで、無論帝國の大方針は厳然たるものあるも差當り學良の出方如何によつて緩急の相違を生ずべしと見られてゐるが、學良が傳へらるゝ如き積極的抗日態度に出づれば勿論我軍としては斷乎たる處置に出で勢ひの赴くところ或は北支全般に波及するやも測られぬと見てゐる

支那軍總退却大混亂
山海關附近に敵影を見ず

【山海關にて相澤特派員三日發】錦州より山海關方面へ出動した鈴木〇團は三日正午山海關に入城し、敵は石河右岸方面に總退却、大混亂を來して居る、敵の兵舍を爆破した錦州飛行隊は三日午前十時山海關上空に出動し猛烈なる爆撃を加へ、錦州飛行場に歸還した、敵は地上部隊と飛行部隊の攻撃を受けた上、〇〇隊の城壁を爆破されたため西門より逃走し、同地南方二里の地點には全然敵の姿を見ざるに至つた

戰死傷者數

【天津三日發】支那駐屯軍司令部發表＝本日の戰鬪による落合守備隊の損害左の如し
▲戰死者八名 吉田中尉、小田島軍曹、外兵六名▲負傷者三十一名、原子大尉、下士官五名兵二十五名

【天津三日發】山海關午後七時四十分發電によると、南門一番乘の殊勳をたてた同地守備隊落合部隊は何柱國の第九旅司令部に本部を移し城壁の西側より西南角一帶を占據し引續き城内の殘敵を掃蕩中
昨夜來の落合部隊死傷戰死將校二下士一、兵五、計八、負傷將校一下士五、兵二五、計三一で關東軍各部隊の損害入報無し

寫眞説明 （上）は我〇團司令部を置いた山海關驛（下）は我驅逐艦が出動し邦人保護中の秦皇島埠頭

わが驅逐艦秦皇島に入港

【山海關三日發】北支の形勢危急の報に接した驅逐艦〇〇は二日午後六時〇〇は十一時秦皇島に入港した

陸戰隊活動

【旅順某所四日着電】山海關における支那側よりの攻撃に對しわが陸戰隊は三日午前十時ごろより攻撃開始、わが海軍驅逐艦〇〇及び〇〇も陸軍に協同、午前十時二十五分ごろより支那兵營を目標とし攻撃を行へり、陸軍部隊は午前十一時二十分山海關城内に突撃を開始し午後二時完全にこれを占領せり、午後五時ごろより引續き敵を攻撃中

日沒と共に追擊中止

【天津三日發】山海關一帶地區の敵を擊破潰走せしめた我軍は更に追擊に移つたが日沒と共に一時之を中止し其後大なる進展はない模樣である

海洋鎭に退却兵集結

【旅順某所四日着電】敵の退却兵は海洋鎭に集結しつゝあるものゝ如し、わが死傷者は戰死三、重傷一八、輕傷三八、なほ山海關城内には一時諸所に火災起りたるも、その後殆ど休戰狀態にしてわが第一線はなほ部署につき緊張してゐる

敵の一個聯隊脆くも潰走

【天津三日發】午前十一時頃秦皇島駐屯の支那兵約一個聯隊は山海關に向け應援のため出動せるにより我が軍艦よりこれを砲擊し潰走せしめた

支那砲兵兩團山海關に出動

【北平三日發】北平附近にある學良軍は今日まで急速に動く形勢はなかつたが、北運にあつた砲兵第七旅の第十五、十六兩團は本日山海關出動の命を受け今夜七時發同方面に向つた、これは北平地方より最初の增援部隊で砲兵を出動させた學良の眞意察知すべし

學良の積極的戰備
北寧線貨車豐臺に集結

【天津三日發】張學良の積極的戰備は愈々露骨となり今朝來山海關北平間の貨物列車全部を全能力を擧げて豐臺に集結中であるが、右列車の集結は增援部隊の輸送準備と見られ、平津地方の支那軍各部隊は待機の姿勢を執つてゐる模樣である

于學忠の挑戰的態度

【天津三日發】山海關衝突と東北軍の積極的抗日戰備の內命に接した于學忠の第一軍は二日朝非常召集を行ひ、主力を天津近郊に集中し、我駐屯軍を牽制せんとし、日支境界線から側面一帶に秘密裡に陣を張り、氣勢を示すと共に、支那街に戒嚴令を布告し、裝甲自動車六臺と彈藥車十餘輛を要所々々に配置する等物々しい光景で、露骨な挑戰的態度を示してゐるが、我駐屯軍は自重して動かず、山海關の戰況を靜かに眺めて在留官民の生命財產保護と軍の使命遂行に萬全を期しつゝあり、支那街の動搖に比し日本租界は底氣味惡いばかりの沈默を續け靜まり返つてゐる（寫眞は于學忠）

張學良の態度未定

【北平三日發】山海關を占據せる我軍は附近の殘敵掃蕩中にして今後如何に進展擴大するかは學良の態度如何によつて決せらるべく觀られるが學良は我中村司令官の警告に對しても未だに一言の挨拶も無く、我軍部ではこの際時日を遷延するを許さずとなし重ねて強硬且つ最後的警告又は通牒を發すべく考慮中の模樣である、而して學良としては我軍の方針の緩急に應じてその態度を決せんとするものらしく、いづれにしても一昨年より昨年にかけ東三省を失つた頃よりも一層苦慮し連日連夜將領會議を開き對策を練つてゐるが、空想論者とて自ら第一線に起つて抵抗する勇氣無く中央に向け支持を仰いでも只徹底的に對戰せよとの返電のみと傳へられ結局學良は狼狽その極にあり小田原評議に終始してゐる

遣外艦隊出動

【東京三日發】[illegible]第二遣外艦隊[illegible]

記者と寫眞班を山海關へ特派

山海關事件突發と同時に本社は二日記者相澤要氏を現地へ特派したが、更に三日寫眞班山口晴康氏を急派し、事件報道に活躍せしむることゝした
滿洲日報社

秦皇島邦人を軍艦に收容

【天津三日發】午後零時十分秦皇島發電によれば山海關の形勢愈々險惡となれるに鑑み秦皇島居住邦人八十名の內六十名は軍艦〇〇に收容された

【天津三日發】秦皇島守備隊は山海關の情勢急迫に鑑み我居留民中約六十名の老人婦女子を軍艦〇〇に收容した

司令官發海軍省着電　山海關における日支衝突事件勃發のため旅順から第〇〇〇〇隊の〇〇、〇〇、〇〇三隻を秦皇島に急行せしむ、また青島から〇〇を同方面警備のため急行せしめた
なほ海軍省では三日萬一の場合を慮り佐世保鎭守府に對し〇〇〇に待機命令を發した

平津邦人の避難準備

【北平三日發】山海關事件の突發に學良の膝許である北平の居留民は頗る緊張し同方面の戰況を待つてゐる、現在の處平津方面への出兵は必要なきも公使館及び守備隊は萬一の場合何時でも避難せしむる準備を整へてゐる

後宮大佐歸任

十一月十七日上京以來關係方面と滿鐵々道部業務の連絡打合せを行つてゐた滿鐵囑託將校後宮大佐は四日入港あめりか丸で歸連したが語る
全部無事に打合せを終つた、村上理事も十日ごろには歸つて來られやう、僕は正副總裁に經過を報告した後、けふ直ちに新京に赴くが今度はしばらく新京にゐるつもりだ

南京政府組織的に排日策を密令
山海關事件牽制手段

【南京三日發】第三次中央執監全體會議の抗日決議に基き國民政府は過般來具體的排日方法を考究中だつたが、山海關事件の發生するや直に日本に對する牽制手段として組織的排日策に出るに決し三日大要左の密令を各省當局に發した
一、日本品殊に砂糖、綿布、化粧品等の輸入を禁ず
二、各地黨部は正式に抗日會を組織し排日運動の徹底を期す
三、各通商港及內地において大規模の日貨排斥を斷行し檢査の上發見した日貨は即時沒收する

對日方針をけふ決定

【上海三日發】鄉里奉化に歸省中の蔣介石は山海關事件の報に接し急遽歸京の途につき今朝八時半軍艦逸仙號で來滬、佛租界の私邸に入り宋子文、吳鐵城、楊虎等と對日策を協議した、蔣介石は四日南京に歸り對日宣言の正式發表を爲す筈

【上海特電四日發】山海關事件突發で南京政府要人連は果然異常な緊張振りを示してゐる、奉化に歸省中の蔣介石は三日極秘裡に歸り窃に各要人を招致して對策協議中である、宋子文及び其他の要人連も昨夜南京に向つたので四日開かるゝ中央政治會議では山海關事件に對する支那側の態度が決定されるものとして大いに重視されてゐるが、宋子文は三日支那記者團との會見において山海關事件に對し左の如き暴言を吐いた
日本軍は山海關憲兵分署內に不發爆彈二ケを發見したと稱し、山海關攻擊の口實にしてゐるが、これは一昨年九月十八日の滿鐵線爆破事件と同樣單なる口實に過ぎない、昨年も元旦に錦州爆擊を爲したが、一九三三年初頭にも日本の軍國主義は再び斯かる侵略事件を突發せしめた、遺憾ながらこれに對する我國の對抗準備は充分であるとはいへないが國民は一致抵抗の擧に出づると信ずる

聯盟を有利に導く支那の惡辣な策動
和平解決の意思無し

【東京四日發】三日夕刻迄に軍部に達した現地よりの情報によれば支那軍首腦部は宣傳とは反對に既に戰意なく何等か自己の面目を立てゝ國民に對する遁辭を得て事件を落着せしめんと焦慮しつゝある模樣で、特別な事態の發生せぬ限り今後は小競合のみで山海關事件は一段落を告げるものと見られる、而して右は聯盟を有利に導かんとする支那側の惡辣な策動の現れで眞に和平解決の意圖はないのであるから熱河、山海關北支一帶を繞る風雲は今次事件の落着のみを以て平靜に歸したりと見るを得ず、茲一、二月の動きは最も注目に値するものと見られる

山海關事件聯盟に提訴
國府外交部訓電

【南京三日發】國府外交部は今夕壽府の支那代表部に訓電し既報の如き理由に基き山海關事件を聯盟に提訴し聯盟は速かに適當の措置をとるやう注意を喚起すべしと命令した

聯盟筋に異常な衝動
和協手續の不成立を憂慮

【ジユネーヴ三日發】山海關の日支兩軍衝突の報道に接し聯盟筋では少からぬ衝動を受けて居るのは云ふ迄も無い、今回の事件によつて漸く成立の曙光が見え出した**日支事件の和協手續きもために最早や完全に成立の見込みが無くなるのではないかと異常な不安**を示してゐる、但し聯盟における各國代表部の首腦部は殆んど全部クリスマス休暇でジユネーヴを留守にしてゐるので、事務局もまた各國代表部に山海關事變の詳細な報告をしてゐない、たゞ**支那代表顏惠慶のみは三日午後急遽壽府に歸來し**逸早く三日夜聯盟事務局に山海關事件に關する支那側の報告を提出した

米輿論事態を重大視
スチムソン原則を再確言

【ワシントン三日發】山海關日支衝突の報道が一度びワシントンに傳はるやアメリカの輿論は相當事變を重大視し、殊にスチムソン長官以下國務省の高官は山海關の占領により支那の北門に位する鐵道上の要地が日本軍により占領さるゝに至つたとなし、甚大な注意を拂つて情勢の推移を見守つてゐる、たゞし米政府に達した公報は何れも今回の戰鬪開始の端緒に關し言及せず、更に山海關には米居留民が一人も居ない關係上、現在のところ情勢の推移を靜觀してゐるに過ぎない、國務長官スチムソン氏も山海關事件に關して特に見解を表明することを差控へ、單に嚢になした通牒で言明した滿洲において侵略の結果獲得さるべき何等の權益をも認めずとの所謂スチムソン原則の再確言を述べてゐる程度である

滿鐵重役會議

滿鐵の昭和八年初重役會議は四日午前十時五十分より林、八田正副總裁、伍堂、十河、山西、山崎の各理事及び後宮囑託出席して開會、伍堂理事より昭和製鋼所問題の經緯について十河理事より石炭移入數量協定問題、日滿經濟統制問題について、又後宮囑託より東京における鐵道問題の經過につき夫々報告あり午後一時散會した

號外發行

山海關事件に關し本社は二日二回、三日三回に亘り號外を發行しました

人事

▲西山左內氏（關東廳財務局長）四日入港あめりか丸にて歸任
▲伍堂卓雄氏（滿鐵理事）同上
▲兒玉常雄氏（滿洲航空會社副社長）同上
▲伊藤源助氏（會社員）同上
▲後宮淳氏（滿鐵囑託將校步兵大佐）同上
▲鬼塚新次氏（二等軍醫）同上
▲太田外世雄氏（滿洲國總理秘書）同上
▲田口利吉郎氏（立大教授）同上
▲浦路耕之助氏（大每囑託）同上 來連
▲ミハイロフ氏（ソウエート大連領事）同上
▲土肥綱氏（滿鐵人事課長）四日出帆ばいかる丸にて內地へ
▲堀切音文氏（國士舘大學教授）同上
▲渡邊中氏（關東軍獸醫部長一等獸醫正）着任挨拶の爲め四日各方面訪問

蛇角

◇蔣介石、[illegible]の要人を集めて急遽對策協議。
◇議する處、素より山海關事件の善後策だが、格別の名案も出ないのは知れたこと。
◇先づ宋子文が新聞記者團に逆宣傳する位がおち。
◇それを知つてチヨツカイを出すのはどうしたことか。
◇寄らば斬るその日本の態度はトツクに知つてる筈。
◇年改まつてさらに運命の窮塞を見る學良の前途やあはれ。

「滿蒙の戰慄」休載

けふ宮中 政始の儀 各國務大臣參列

【東京四日發】天皇陛下御政務を執らせ給ふ初の日を皇室儀制令にて政始の儀と御治定四日御恒例により宮中東一ノ間で此式を嚴かに行はせられた

午前十時に先き立ち齋藤首相以下各國務大臣倉富樞府議長一木宮相等は何れもフロック又はモーニングの通常服で參內東二の間に參入し天皇陛下には陸軍將式御通常禮裝に大勳位副章御佩用、林式部長官の御前行、牧野內府、鈴木侍從長、奈良同武官長、侍從同武官供奉し參列諸員最敬禮中を同十時東一ノ間なる御儀の間に出御遊ばされた、正面玉座に着御相成ると內府、侍從長、武官長、柴田內閣書記官長、關屋宮內次官、宮內書記官順次御間の扉內に候し、侍從、同武官は扉外に控へて御儀に入るかくて齋藤首相は謹嚴なる足どり靜かに東一ノ間なる陛下の御前に參進

內閣總理大臣正二位勳一等功二級子爵齋藤實奏神宮祭主申昨昭和七年中神宮恒例臨時諸祭典總而無御滯被成遂行候事

昭和八年一月四日

と奏上次いで一木宮相は

宮內大臣從二位勳一等一木喜德郞奏昨昭和七年中宮中諸祭典總而無御滯被成遂行候事

昭和八年一月四日

と奏上、陛下には一々御うなづき遊ばされて御聽取同十一時御儀終了諸員最敬禮中に入御相成つた

赫々の武勳を殘し 長谷部々隊の凱旋 屠蘇氣分の新京を後に

【新京電話】滿洲事變勃發以來南嶺に寬城子に全滿各地に亙つて匪賊の大掃蕩を行ひ赫々たる武勳を殘し滿洲國建國を泰山の安きにおいた長谷部〇團主力は屠蘇の醉ひ未ださめぬ四日午前十時四十分愈々懷しき駐屯地新京を去ることゝなつた、この日朝零下十八度、新京の空は限なく晴れ各戶に翻へる日章旗も〇隊の離京を惜むが如く朝早くから準備に忙殺された兵士の顏にも緊張と喜びの交錯の色が見える、斯くて午前十時半商業學校、女學校等の分宿所前に整列、堂々と步武を揃へて晴れの凱旋第一步を新京驛に向つた、綾の如く折重なつた各種事件に遭遇し、新しき大同二年の新春を迎へた新京人は由緒深い我等の兵士を見送るべく續々と驛頭に集合した、手に〳〵日の丸の旗を持つた子供達學生、一般住民達は勿論白髮の老人までが驛前の廣場に高く飾られた凱旋塔に過ぎし一年を顧み新興の熱に醉ひ進軍のラッパも勇ましく堂々と繰込む第〇隊主力兵士に感激と感謝のまなざしを送つた、プラットホームに整然と橫たへた臨時列車に主力は順次整然として乘込み荒木地方事務所長、高相警察署長等を始め新京在住の有力者在鄕軍人分會、婦人會の代表者の顏も群衆の中に見えた、萬歲の聲が一齊に起つた、頭上に打ふる日の丸の旗、別れの悲しみと喜ばしき晴れの凱旋、二つの感情が渾然として融和したゞ萬歲の叫びがあるばかりだ、發車のベルがけたゝましくなる、斯くて定刻列車の兵士は名殘惜い新京に最後の萬歲を浴びせ乍ら懷しい故鄕に錦を飾つて行く、一しきり起る萬歲又萬歲輝かしい兵士に幸あれ

滿洲の社會制度と移民研究に 田口立大教授來連

立大教授田口利吉郞氏は四日入港あめりか丸で來連、船中語る

自分は社會學の方を擔當してゐる關係上、今度滿洲の社會制度と移民問題の研究に來た、そして歸路上海に廻り南支人と米國人が特に親しくする關係が妙だからその原因がどこにあるかを探究したい、勿論支那人のアメリカ貿易熱は大變なものでこれ等が歸國後アメリカと特に提携しようとするのであらうが、自分もコロンビヤ大學を出た關係で上海のアメリカ人中には知つたものもあるしよくその邊を話合ひ日本の態度などについても正々堂々と教へてやる氣で居る約三週間位の豫定で奧地を見て上海に渡る

滿洲航空 副社長歸連

滿洲航空會社副社長兒玉常雄氏は約三ケ月に亙り東京大阪その他各地を廻つてゐたが四日入港あめりか丸で歸連、沖よりランチで上陸の上直に「はと」で奉天に向つた船中僅かなひまを語る

滿洲航空會社の方はお蔭で着々效果をあげてゐるが何分草創の際の事とてまだお話しすべきところまで行つてゐない、今度の上京の用件はエヤーラインに使用する旅客機の注文と會社が出來て初めての上京なので各有力關係方面と顏つなぎをして來たのだ、今は主として日本定期航空會社の使用機と同じものを使用してゐる、とにかく色々な關係上今發表を差控へなければならない問題が多い

滿鐵經調會の改造は必要 十河理事解消論を否定

滿鐵經濟調査會の改造又は解消論が社內に擡頭し委員長たる十河理事の歸連が待たれてゐたが、同理事も舊臘歸任したので仕事始めとともに本問題は新しき展開を見るべしと期待されてゐる、これに對して十河理事は

經濟調査會をどうするかといふことは今の處全然考へてゐない計畫部が出來たからといつて、同部は會社の仕事と定つた事業成立についての面倒を見るものでそこまでに到る基本的な調査立案は今まで通り經濟調査會が取扱ふのだから、兩者の間には自ら機能上の區別があり、經調の存在の意義は少しも傷けられてゐない、又經調の仕事は大部分濟んだといふ意見もあるやうだが、ロシアの五箇年計畫案があの永い年月を要したことを考へれば、一年位ゐで調査立案が濟むものでなく經調の働くのはむしろこれからだ

と言明した、これによつて少くとも經調解消は實現せぬとは明白となつたが、過去一ケ年間の經驗により經調の現在の組織や機能に改造を加ふべしとの意見が部內に相當有力に傳へられてゐるので改造論の方は活潑な展開を見るものと信ぜられてゐる

反吉林部隊 頭目歸順

【穆稜三日發】滿洲國境ボクラニチナヤの反吉林軍旅長關慶祿は李杜丁超敗走の報に歸順の意を表するに至り一般に反吉林部隊の頭目は歸順の色濃厚でボクラニチナヤに到る東支東部線の敵は歸順又は遁走し皇軍は無人の野を行くが如く勇躍今や露滿東部國境に到達するも間もないことゝ見られてゐる

恩賜受療患者 感泣

【奉天電話】奉天に於て恩賜救療資金で現在醫大醫院に入院療養を受けてゐるものが四名あるが既に三名はこの溫かい惠みを受けて快癒しその有り難さに感泣してゐる又一名は傳染病で他に移された、こゝで療養を受けてゐるものは施療金なく出來るだけ我慢してゐる爲申出た際は何れも重患となり從つて快癒の月日、經費等多數を要するが現在までの患者は何れも一人につき三四十圓を要してゐると

新社員採用に 滿鐵土肥人事課長上京

滿鐵土肥人事課長および同課古賀人事係主任は新入社員採用のため四日大連出帆ばいかる丸で上京したが交々語る

先づ鐵道省から備ひ入れる技術屋を採用するがこれは既に羽田鐵道部長が上京して大體話をつけてあるからさう私達の手間はかゝらない、專門學校卒業以上の技術屋は七十六、七名採るが卒業席次五分一以上といふ條件を附したに拘らず四百三十名の申込がある、中等學校卒業の技術屋は約百名採用するが、これは最後の決定を見るのは大連に歸つてからだ、技術では土木方面を一番多く採用するが、銓衡期は二月上旬の豫定だ、兎に角技術屋は頭が良くなければ困る

奉山線山海關まで運轉

【奉天電話】奉山線は日支衝突の爲一時錦州迄旅客列車を運行してゐたが四月より山海關迄の乘車券を發賣し、一般旅客列車は平常通り運行、午前八時五十分發第一列車は十五分遲れて山海關に向つた

長谷部々隊 着奉

【奉天電話】事變來轉戰十有餘ケ月北に西に武勳を遺した長谷部〇團本部は第〇聯隊本部と共に四日午前九時十五分新京より着奉同十時安奉線にて凱旋の途についた

撫順對大連アイスホッケー

三日中央公園で行はれた撫順軍對大連軍のアイスホッケー戰々績左の如し

大連一中3—1撫順中學
撫順滿鐵6—1大連二中
南滿工專3—2撫順中學
撫順滿鐵3—1大連滿鐵

メンバー	GK	BD	LD	RW	C	LW
二中	岩佐	末光	岡松	山崎	北田	山內
一中	濱岡 木谷	村井 片岡	木下	市川 田中	百束 應根	光田 田中
工專	北川	前橋	小泉	樋口	福井	山田 田口
大滿	山野	秋月	福田	浦井	小寺	有吉
撫中	村田	笠井	江副	山本	石田	山田
撫滿	村田	佐山	吉塚	水谷	金河	阿部

審判及びタイムキーパー大賀、拓植（なほ大滿は大連滿鐵、撫滿は撫順滿鐵、一中、二中は何れも大連）（寫眞は同試合）

快晴に惠まれた 滿洲航空會社の日滿連絡初飛行 勇ましいM一〇七號の勇姿 恙なく處女航空路を突破

滿洲航空株式會社の手によつて行はれる奉天、大連間の日滿連絡初飛行は愈々四日より開始された、この初飛行に乘込んだ最初のお客樣は大連丁字屋洋服店主畑助市氏、奉天の矢田部節治氏及び新しいものなら何でも逃さない村岡樂童氏の三人、滿暗い午前七時三十分、自動車で周水子飛行場に運ばれて來た、飛行士は都築操縱士、淺川機關士の二人ほか會社側一同冷酒をくんで乾杯し、エム一〇七號に乘じ同七時三十分爆音勇ましく離陸奉天に向つた、途中快晴に惠まれ初飛行は恙なく處女航路を二時間にして突破同九時三十七分奉天に到着した、同飛行機はこのほか大連より滿洲國行の郵便行囊五個を運んだ、奉天よりは同じく午前十一時三十分發午後三時十分大連着の豫定で今日より奉天大連間定期飛行は日曜を除き毎日一往復行はれることゝなつた、なほ四日は日本航空飛行會社の內地行旅客も東京行一、福岡一、京城二、新義州二名あり滿員の盛況であつた

御用始 民政署と市役所

大連民政署では四日午前十時より貴賓室において署員參集の上御用始の式を舉行、永井署長の訓示に次いで署員一同を代表し草薙財務課長の答辭あり、閉式したがそれより自由退散となつた

◇

大連市役所では四日午前十時より

大連署の初捕物 郊外荒し 寢込みを襲ひ逮捕

大連署の初捕物——曩に強盜容疑者として指名手配中の市外香爐礁三區叢連濟(二〇)が復州方面から舞ひ戻つたのを探知した大連署司法係強力班は四日午前五時ごろ寢込みを襲ひ逮捕した、右は昭和六年十二月三日午前五時五十分ごろ香爐礁五十番地雜貨商鄒洪籙方に押入り、家人を縛り上げ大洋十九圓を強奪した郊外荒しの強盜犯人で、犯行の全部を自白した

賣掛金橫領

市內信濃町六二番地食料品店米山繁造方店員楠野敏光(二〇)は數ケ月前から店主の眼を掠め得意先である市內久方町高橋珍平方の賣掛代金百三十八圓を橫領したのを初め外十數軒の得意先から千數百圓に上る集金を橫領しカフエーやダンスホールで消費してゐたことが年末決濟になつて發見され、店主の告訴によつて昨年末大連署に留置取調中であつたが四日業務橫領で一件書類と共に送局された

ダンス場で現金窃取 餘罪取調中

三日午後十一時三十分ごろ市內大山通遼東ホテル七階ダンスホールでテーブルの上に在つた市內八幡町三五番地佐野方前田良子(二〇)のハンドバックを窃取し何食はぬ顏でホールを立ち退らうとする男をホテルの事務員加藤某が發見取押へ大連署に突き出した、この男は愛知縣豐橋市松葉町生れ住所不定岡田正雄(二〇)といひ餘罪多數の見込みで引續き取調中

東亞新生會滿洲部

誰方でも一人で解決の出來ない苦みを持つて居られる方、基督教の救を求めて居られる方は、本會を利用して下さい、本會の方法をつくして御助力申上げます、先づ手紙を左記にお送り下さい

事務所 大連市薩摩町 双葉學院內

十六列車遲着

三日午後四時四十五分大連着豫定の旅客第十六列車は同日午前十時十五分南臺驛で三等車のカップラー破損解放のため五十五分同驛に停車、そのため二十五分大連驛に遲着した

荒木大尉等の「遺骨二十五體」 けふばいかる丸で歸還

興安嶺の白雪を鮮血で彩り大和もの、ふの花と散つた故工兵大尉荒木克業氏、舊臘廿三日嵩寶山附近における匪賊に爆擊を加へその歸路、新京飛行場に着陸せんとした刹那爆發によつて名譽の戰死を遂げた故航空兵大尉福島正夫氏をはじめ爆死八勇士その他各地において名譽の戰歿者計二十五勇士は四日出帆ばいかる丸で變つた姿で凜の凱旋した、これより先埠頭待合所で市主催の慰靈祭が行はれ、國の鎭めが冬空に溶けこんで行く、見送り千餘の市民は一樣に脫帽敬禮してこの悼しき勇士の遺骨を見送つた

荒木大尉の 遺骨到着

十二月三日興安嶺で壯烈なる戰死を遂げた故荒木大尉、同二十三日新京で名譽の戰死を遂げた故福島航空兵少佐等十七位の遺骨は三日午後五時十分大連着の列車で來連したが途中金州まで出迎への記者に輸送指揮官富所航空兵中尉は語る

福島中隊長殿は實際惜しい人でした、在滿中隊長のうちで一番の若手であつたといふことだけでもその技倆なり人格が偲ばれます、大興安嶺攻擊の作戰には非常な偉勳をたてられたが本人もつと華々しい戰爭で死にたかつたことだらうと思ひます

故荒木大尉の遺骨には令兄荒木持久氏が附添つてゐたが「脫線機が成功したので弟も死花を咲かせてくれました」としんみりと語り、また荒木大尉の當番兵として同大尉と行を共にした鐵道〇隊小林上等兵は語る

一日早朝昂々溪を出發二、二日共夜晝なく進行をつゞけました三日午前十一時ブヘトを占領した時大尉殿は非常な好機嫌で「君と二人記念寫眞を撮らう」と言つて寫眞を撮して貰ひましたそして十二時半ごろブヘトを出發四キロ五百の地點に差かゝりました時前方の裝甲牽引車が歸つて來て荒木大尉殿の戰死を報告して來ました、それは丁度四時ごろでしたが私が驅けつけた時は既に大尉殿は戰死なされ腕時計が三時五十分で止まつてゐました

六十日間ハイラルに監禁され文字通り九死に一生を得た陸地測量部員[illegible]氏は語る

遭難の樣子は滿日の(神谷)特派員ハイラルで詳しく話しましたので御紙の十八日附の新聞にそれが出てゐました、なほ車中の人々は脫線機が成功した結果牽引車無事であることが出來たのでわが軍事行動もこのため支障を起すことが無かつた、この意味からしても荒木大尉の沈着な處置はわが軍に非常な利益をもたらしたものである

と口を極めて稱揚してゐた、かくて車がプラットホームに到着するや、山西滿鐵理事、田村陸軍運輸部大連出張所長、若月市會副議長在鄕軍人團はじめ市民各方面多數の出迎へ人は遺骨に最敬禮を行ひ富所中尉の挨拶あり、直に自動車で常安寺に遺骨は安置された、三日到着の遺骨左の如し

〇〇航空隊福島少佐他五體◆鐵道〇隊荒木大尉◆關東憲兵隊佐藤軍曹◆獨立守備〇隊尾野上等兵他一體◆步兵第〇隊高橋上等兵◆同〇隊種市上等兵◆同〇隊鈴木上等兵◆陸地測量部村上測量師他三體

步兵〇隊將校の年始狀

滿洲事變發生以來新民屯から錦州一帶の地に進出幾多の勳功を現した步兵〇〇隊谷儀一大佐以下將校三十四名は連名で意氣軒昂な年始狀を各方面に發信、更に銃後の人々に對し一段の後援を要望して來た

藤井部長遺骨歸鄕

さきに安奉線鳳凰城において殉職せる故關東廳巡査部長藤井貫氏の遺骨は四日出帆ばいかる丸で故荒木大尉等の英靈と共に鄕里に歸つた

旅順市長の後任問題 各派の暗躍

旅順後任市長問題に當面する有給派の有志七十餘名は四日午後三時から聖德殿に集合、新年宴會を兼ねて有志の步調を固め目的遂行の懇談會を開催した、また米岡、宅島兩議員は伴民政署長その他を訪問懇談をなすところあつた、なほ現制度維持派も某所に會合協議會を開いた

戎克顚覆し 九名溺死

三日午前十時旅順管內山頭會屯子礁島を距る南方二十間の海上でかき取りに出かけた同村張學勝ほか十五名の戎克が顚覆男一名女八名溺死男一名行方不明となつた

河本理事退院

河本滿鐵理事は流感で三十一日以來大連滿鐵醫院に入院中のところ四日退院した

天氣予報

北の風 晴一時曇り

各地氣溫 四日午前十一時

大連零下二 旅順零下一
營口同一七 奉天同一三
新京同一一

國難日本刀（301）

高桑義生作　京極佳夕畫

仇敵邂逅（四）

文吉は呻つた。

かれはお千に愛着をもつてゐるのだ。彼女を捕縛するために、そのあとを附けつ廻しつ、狙つてゐるうちに、いつかお千の身體に、彼女の氣持に曳き摺られてゐた。

文吉といふ男、女房はあるが、女ぎらひといはれてゐた。女を見向きもしない、噂にも情にほだされるといふ事は、聞かなかつた。冷酷漢――血も涙もない、鬼といはれた男。その文吉の意外な戀、思ひつめた一心は――それだけに執拗なものだつた。

お千は、女の敏感さで知つてゐた。彼女はつよい。あくまで優越者の立場で、敵を、文吉を見下すことが出來るのだ。

文吉は機會を待つてゐた。

京都では――。

彼女の周圍に、浪士が雲のごとく集まつてゐる。役目で捕縛するならば、彼にも覺悟はあつたのだが――相手に、心のたけを通ずる機會は少なかつた。お千が桂とともに江戸に下つたあとを追つて來たのもそのため、小五郎からはなれて彼女一人となつた今こそ、最善の機會でなければならぬ。

が、お千の毒舌、あいそづかしもこれ以上のものはあるまい。文吉は完全に打ちのめされた。

文吉は呻つたのだ。そして、

「ま、待つてくれ」

すると、

「お先に御免を蒙りませうよ」

とお千はほの〲と笑つたのである、そして悠々と、踵をめぐらした。

「お千！」

くわツと取つ詰めた文吉、鋭く呼びかけた。お千は、振り向きもしなかつた。

（よしツ）

と心に叫んだ文吉は、本來の目明しに返つてゐた。しかも、愛に倍する憎惡が、緋をかきたてゝ、

「吼え面かくなよ」

十手を揮り、繩をさぐつた。

「おほゝゝ……」

勝ち誇つたお千の笑ひを聞き流して、たゝッと、背後にせまつた。

お千は振返つた。短銃がかの女の右手に、ぴたりと、突きつけられた。

「あたしのこれに、まだ懲りないのかれ」

十年の昔、伊豆柿崎の濱邊で、お千のために、臓腑を射ぬかれた文吉だ。が、彼はあざ笑つた。

「フン、撃つて見るがいゝ。そのピストルが役にたつものなら……」

「？…………」

「ためしに、引金を引いて見ねえよ。ズドンと鳴つたら、逆とんぼをしてお目にかゝらあ」

「な、なんだツて？」

お千はあわてた。引金をひいた。が、何の手ごたへもなかつた。

「はゝゝ……カチリと音がしたやうだれ。だが、役にはたゝねえ。そのはずだ。ピストルの彈丸はねえ」

「えツ」

「さすがのお千さん、千慮の一失といふもんさ。箱根の宿で、お前がいゝ氣持で湯につかつてゐる間に、ちよつと彈丸を拔いて置いたんだ」

「ちツ」

とお千は舌打をした。

「だから、いはねえ事ぢやねえ。力と業では、到底おいらの敵ぢやねえ。惡い事はいはねえから、この邊で兜をぬいだらどうだ。惚れた弱味、せい〲可愛がつてやらうといふものだ」

「ちえツ、くやしい」

「この繩が、お前の肌にくひ入りてえと呻つてらあ」

「誰が……」

といつたが、お千はぱツと土を蹴つた。身を返した。

「おつとどつこい」

虚空を切つて、文吉の手もとからあざやかに繰り出された繩。

「あッ」

向ふ向きのお千の柔首に、繩はくる〱とからんで來た。

大劇の酒井雲讀物

大連劇場の文藝浪曲酒井雲一行の四、五日兩夜の讀物は左の如くである

▲四日　老母涙金時、水戸黄門漫遊席衛水、坂崎出羽守正宗兼光酒井雲

▲五日　男作の鎌腹、金時、水戸黄門漫遊席衛水、沓掛時次郎酒井雲

白蓮　入江プロ作品　映畫館上映

原作はサンデー每日に連載された柳原燁子女史の半自傳風の物語、日活に居た木村千疋男、館岡謙之介の脚色を木村惠吾がメカフォンをとり克明に描いて居る。

……◇……

美しい處女時代の初戀を捨て、筑紫の黄金王穰波藤太に何故白蓮が嫁さなければならなかつたか、そして結婚後冷酷無情な穰波が崇高な白蓮の眞實味に、人類愛にめざめて、生埋された炭坑の坑夫救出の決心を起すに至るまで、そして白蓮が黄金萬能の世界から再び別れた戀人の胸に歸るまでの數々の挿話。

……◇……

息もつかせず昂奮させる手際、大作としての貫祿を示してゐる、樂しい初戀時代の美しさが悲劇的結婚の時ヒシと胸に迫り、列車の中から起つたこの物語が列車の中で終るのも好ましい手法である。

……◇……

入江たか子は娘時代と白蓮時代共に演出出色の出來榮で、何と言つても白蓮役の第一人者、助演の由利健二、浦邊粂子も相當持役をこなしてゐる。

……◇……

青島順一郎のカメラは素晴らしい流麗さでこの映畫に好印象を植つけ、十三巻の長尺を大した破綻も見せぬ所、總ての人々の熱が見える、若い人達には文句なしに歡迎される映畫だ。

暴風帶　松竹蒲田作品　中央映畫館上映

朝日新聞に連載された下村千秋の原作長編小説を池田忠雄の脚色、清水宏の監督で映畫化したものであるが、原作を讀んだ人々には脚色が腑に落ちないだらう、この映畫の最も大きな缺點は（檢閲を考慮した結果かも知れぬが）池田忠雄の脚色にある

……◇……

清水宏の手法は例の如く坦々と筋を運んでゐる、配役では先づ奈良眞養の大場と澤蘭子の瀧子がよく、野村秋生の民坊は好感を持つて將來が期待されやう。江川宇禮雄の滑川、川崎弘子の優子ともに性格描寫が不充分でこれもまた脚色の罪である

日活館の早朝興行

日活館では四日からメトロ超特作品「類猿人ターザン」を上映し第二週に入つたが、第一週の早朝興行の好成績に鑑み、四、五日の兩日に限り引續き早朝興行をなし午前十一時半までの入場者は階上階下とも三十錢引である

うわさ話

三ケ日の大連映畫街は各館ともによく客足を呼んでいよ〱インフレ景氣に乘つて好調裏にスタートした▲映畫館に出演中の森靜子の可愛い舞姿もいよ〱今夜限りで明日は旅順見物をなして六日離連▲けふの大湊丸で常盤座の第二週に出演する木村時子の一行が花やかに來連▲一行中にその後舞踊家澤カホルが特別加入して來た▲生駒雷遊だけは東京の放送に引張られて一船おくれ六日來連▲又常盤座の第三週は「地獄の天使」を提供する豫定

滿洲日報

一月四日發行

發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

我要求達成するまで山海關から撤退せず
わが軍の事件解決方針

【山海關にて相澤特派員三日發】わが軍は支那軍の不法なる挑戰に已むなく膺懲手段を講じ一時山海關を保障占據して事件の解決を圖ることゝなつたが何柱國に對し

一、責任者として陳謝の意を表すること
一、事件再發防止解決案を提示すると共に山海關に支那軍を駐屯せしめざること
一、同地を緩衝地帶とすること
一、奉山鐵道を山海關まで延長し北寧鐵路から離脱せしめること

以上の條項を達成するまで日本軍は同地から撤退せぬとの案を提出した

積極的行動に出でず
支那軍が挑戰せざる限り

【山海關にて相澤特派員三日發】山海關における今次の我軍死傷者は約六十名に上つてゐる無暴なる支那軍の挑戰に對し遂に山海關を占據したが、今後再び挑戰し來たらざる限り我軍において積極的に出づることなく支那軍の反省を求めることに決した

出樣如何で斷乎處置

【天津四日發】山海關占據を以て軍事行動一段落といふべきか否かについては各方面共注視してゐるところで、無論帝國の大方針は厳然たるものあるも差當り學良の出方如何によつて緩急の相違を生ずべしと見られてゐるが、學良が傳へらるゝ如き積極的抗日態度に出づれば勿論我軍としては斷乎たる處置に出で勢ひの赴くところ或は北支全般に波及するやも測られぬと見てゐる

支那軍總退却大混亂
山海關附近に敵影を見ず

【山海關にて相澤特派員三日發】錦州より山海關方面へ出動した鈴木〇團は三日正午山海關に入城し、敵は石河右岸方面に總退却、大混亂を來して居る、敵の兵舍を爆破した錦州飛行隊は三日午前十時山海關上空に出動し猛烈なる爆擊を加へ、錦州飛行場に歸還した、敵は地上部隊と飛行部隊の攻擊を受けた上、〇〇隊の城壁を爆破されたため西門より逃走し、同地南方二里の地點には全然敵の姿を見ざるに至つた

戰死傷者數

【天津三日發】支那駐屯軍司令部發表＝本日の戰鬪による落合守備隊の損害左の如し

▲戰死者八名 吉田中尉、小田島軍曹、外兵六名▲負傷者 三十一名、原子大尉、下士官五名兵二十五名

【天津三日發】山海關午後七時四十分發電によると、南門一番乘の殊勳をたてた同地守備隊落合部隊は何柱國の第九旅司令部に本部を移し城壁の西側より西南角一帶を占據し引續き城内の殘敵を掃蕩中 昨夜來の落合部隊死傷戰死將校二下士一、兵五、計八、負傷將校一

下士五、兵二五、計三一で關東軍各部隊の損害入報無し

寫眞說明 (上)は我〇團司令部を置いた山海關驛(下)は我驅逐艦が出動し邦人保護中の秦皇島埠頭

陸戰隊活動

【旅順某所四日着電】山海關における支那側よりの攻擊に對しわが陸戰隊は三日午前十時ごろより攻擊開始、わが海軍驅逐艦〇〇及び〇〇も陸軍に協同、午前十時二十五分ごろより支那兵營を目標とし攻擊を行へり、陸軍部隊は午前十一時二十分山海關城内に突擊を開始し午後二時完全にこれを占領せり、午後五時ごろより引續き敵を攻擊中

日沒と共に追擊中止

【天津三日發】山海關一帶地區の敵を擊破潰走せしめた我軍は更に追擊に移つたが日沒と共に一時之を中止し其後大なる進展はない模樣である

退却兵海洋鎭に集結

【旅順某所四日着電】敵の退却兵は海洋鎭に集結しつゝあるもの如し、わが死傷者は戰死三、重傷一八、輕傷三八、なほ山海關城内には一時諸所に火災起りたるも、その後殆ど休戰狀態にしてわが第一線はなほ部署につき緊張してゐる

敵の一個聯隊脆くも潰走

【天津三日發】午前十一時頃秦皇島駐屯の支那兵約一個聯隊は山海關に向け應援のため出動せるにより我が軍艦よりこれを砲擊し潰走せしめた

支那砲兵兩團山海關に出動

【北平三日發】北平附近にある學良軍は今日まで急速に動く形勢はなかつたが、北運にあつた砲兵第七旅の第十五、十六兩團は本日山海關出動の命を受け今夜七時發同方面に向つた、これは北平地方より最初の增遣部隊で砲兵を出動させた學良の眞意察知すべし

わが驅逐艦秦皇島に入港

【山海關三日發】北支の形勢危急の報に接した驅逐艦〇〇は二日午後六時〇〇は十一時秦皇島に入港した

南京政府組織的に排日策を密令
山海關事件牽制手段

【南京三日發】第三次中央執監全體會議の抗日決議に基き國民政府は過般來具體的排日方法を考究中だつたが、山海關事件の發生するや直に日本に對する牽制手段として組織的排日策に出るに決し三日大要左の密令を各省當局に發した

一、日本品殊に砂糖、綿布、化粧品等の輸入を禁ず
二、各地黨部は正式に抗日會を組織し排日運動の徹底を期す
三、各通商港及内地において大規模の日貨排斥を斷行し檢査の上發見した日貨は即時沒收する

對日方針をけふ決定

【上海三日發】鄕里奉化に歸省中の蔣介石は山海關事件の報に接し急遽歸京の途につき今朝八時半軍艦逸仙號で來滬、佛租界の私邸に入り宋子文、吳鐵城、楊虎等と對日策を協議した、蔣介石は四日南京に歸り對日宣言の正式發表を爲す筈

【上海特電四日發】山海關事件突發で南京政府要人達は果然非常な緊張振りを示してゐる、奉化に歸省中の蔣介石は三日極秘裡に歸滬し各要人を招致して對策協議中である、宋子文及び其他の要人連も昨夜南京に向つたので四日開かるゝ中央政治會議では山海關事件に對する支那側の態度が決定されるものとして大いに重視されてゐるが、宋子文は三日支那記者團との會見において山海關事件に對し左の如き聲言を吐いた

日本軍は山海關憲兵分署内に不發爆彈二ケを發見したと稱し、これを山海關攻擊の口實にしてゐるがこれは一昨年九月十八日の滿鐵線爆破事件と同樣單なる口實に過ぎない、昨年も元日に錦州爆擊を爲したが、一九三三年初頭にも日本の軍國主義は再び斯かる侵略事件を突發せしめた、遺憾ながらこれに對する我國の對抗準備は充分であるとはいへないが國民は一致抵抗の擧に出づると信ずる

聯盟を有利に導く支那の惡辣な策動
和平解決の意思無し

【東京四日發】三日夕刻迄に軍部に達した現地よりの情報によれば支那軍首腦部は宣傳とは反對に既に戰意なく何等か自己の面目を立て國民に對する遁辭を得て事件を落着せしめんと焦慮しつゝある模樣で、特別な事態の發生せぬ限り今後は小競合のみで山海關事件は一段落を告げるものと見られる、而して右は聯盟を有利に導かんとする支那側の惡辣な策動の現れで眞に和平解決の意圖はないのであるから熱河、山海關北支一帶を續る風雲は今次事件の落着のみを以て平靜に歸したりと見るを得ず、玆一、二月の動きは最も注目に値するものと見られる

山海關事件聯盟に提訴
國府外交部訓電

【南京三日發】國府外交部は今夕壽府の支那代表部に訓電し既報の如き理由に基き山海關事件を聯盟に提訴し聯盟は速かに適當の措置をとるやう注意を喚起すべしと命令した

聯盟筋に異常な衝動
和協手續の不成立を憂慮

【ジユネーヴ三日發】山海關の日支兩軍衝突の報道に接し聯盟筋では少からぬ衝動を受けて居るのは云ふ迄も無い、今回の事件によつて漸く成立の曙光が見え出した**日支事件の和協手續きもために最早や完全に成立の見込みが無くなるのではないかと異常な不安**を示してゐる、但し聯盟における各國代表部の首腦部は殆んど全部クリスマス休暇でジユネーヴを留守にしてゐるので、事務局もまた各國代表部に山海關事變の詳細を報告してゐない、たゞ**支那代表顏惠慶のみは三日午後急遽壽府に歸來し**逸早く三日夜聯盟事務局に山海關事件に關する支那側の報告を提出した

米輿論事態を重大視
スチムソン原則を再確言

【ワシントン三日發】山海關日支衝突の報道が一度びワシントンに傳はるやアメリカの輿論は相當事變を重大視し、殊にスチムソン長官以下國務省の高官は山海關の占領により支那の北門に位する鐵道上の要地が日本軍により占領さるゝに至つたとなし、甚大な注意を拂つて情勢の推移を見守つてゐる、たゞし米政府に達した公報は何れも今回の戰鬪開始の端緒に關し言及せず、更に山海關には米居留民が一人も居ない關係上、現在のところ情勢の推移を靜觀してゐるに過ぎない、國務長官スチムソン氏も山海關事件に關して特に見解を表明することを差控へ、單に曩になした通牒で言明した滿洲において侵略の結果獲得されるべき何等の權益をも認めずとの所謂スチムソン原則の再確言を述べてゐる程度である

學良の積極的戰備
北寧線貨車豐臺に集結

【天津三日發】張學良の積極的戰備は益々露骨となり今朝來山海關北平間の貨物列車全部を全能力を擧げて豐臺に集結中であるが、右列車の集結は增援部隊の輸送準備と見られ、平津地方の支那軍各部隊は待機の姿勢を執つてゐる模樣である

于學忠の挑戰的態度

【天津三日發】山海關衝突と東北軍の積極的抗日戰備の内命に接した于學忠の第一軍は二日朝非常召集を行ひ、主力を天津近郊に集中し、我駐屯軍を牽制せんとし、支境界線から側面一帶に秘密裡に陣を張り、氣勢を示すと共に、支那街に戒嚴令を布告し、裝甲自動車六臺と現業車十餘輛を要所々々に配置する等物々しい光景で、露骨な挑戰的態度を示してゐるが、我駐屯軍は自重して動かず、山海關の戰況を靜かに眺めて在留官民の生命財產保護と軍の使命遂行に萬全を期しつゝあり、支那街の動搖に比し日本租界は底氣味惡いばかりの沈默を續け靜まり返つてゐる(寫眞は于學忠)

張學良の態度未定

【北平三日發】山海關を占據せる我軍は附近の殘敵掃蕩中にして今後如何に進展擴大するかは學良の態度如何によつて決せらるべく觀られるが學良は我中村司令官の警告に對しても未だに一言の挨拶も無く、我軍部ではこの際時日を遷延するを許さずとなし重ねて强硬且つ最後的警告又は通牒を發すべく考慮中の模樣である、而して學良としては我軍の方針の緩急に應じてその態度を決せんとするものらしく、いづれにしても一昨年より昨年にかけ東三省を失つた頃よりも一層苦慮し連日連夜將領會議を開き對策を練つてゐるが、空想論者とて自ら第一線に起つて抵抗する勇氣無く中央に向け支持を仰いでも只徹底的に對抗せよとの返電のみと傳へられ結局學良は狼狽その極にあり小田原評議に終始してゐる

遣外艦隊出動

【東京三日發】津田第二遣外艦隊

司令官發海軍省着電 山海關における日支衝突事件勃發のため旅順から第〇〇〇〇隊の〇〇、〇〇、〇〇三隻を秦皇島に急行せしむ、また靑島から〇〇を同方面警備のため急行せしめた

なほ海軍省では三日萬一の場合を慮り佐世保鎭守府に對し〇〇〇に待機命令を發した

秦皇島邦人を軍艦に收容

【天津三日發】午後零時十分秦皇島發電によれば山海關の形勢愈々險惡となれるに鑑み秦皇島居住邦人八十名の内六十名は軍艦〇〇に收容された

【天津三日發】秦皇島守備隊は山海關の情況急迫に鑑み我居留民中約六十名の老人婦女子を軍艦〇〇に收容した

平津邦人の避難準備

【北平三日發】山海關事件の突發に學良の膝許である北平の居留民は頗る緊張し同方面の戰況を待つてゐる、現在の處平津方面への出兵は必要なきも公使館及び守備隊は萬一の場合何時でも避難せしむる準備を整へてゐる

後宮大佐歸任

十一月十七日上京以來關係方面と滿鐵々道部業務の連絡打合せを行つてゐた滿鐵囑託將校後宮大佐は四日入港あめりか丸で歸連したが語る

全部無事に打合せを終つた、村上理事も十日ごろには歸つて來られやう、僕は正副總裁に經過を報告した後、けふ直ちに新京に赴くが今度はしばらく新京にゐるつもりだ

記者と寫眞班を山海關へ特派

山海關事件突發と同時に本社は二日記者相澤要氏を現地へ特派したが、更に三日寫眞班山口晴康氏を急派し、事件報道に活躍せしむることゝした

滿洲日報社

滿鐵重役會議

滿鐵の昭和八年初重役會議は四日午前十時五十分より林、八田正副總裁、伍堂、十河、山西、山崎の各理事及び後宮囑託出席して開會 伍堂理事より昭和製鋼所問題の經緯について十河理事より石炭移入數量協定問題、日滿新制經濟問題について、又後宮囑託より東京における鐵道問題の經過につき夫々報告あり午後一時散會した

號外發行

山海關事件に關し本社は二日二回、三日三回に亘り號外を發行しました

人事

▲西山左内氏(關東廳財務局長) 四日入港あめりか丸にて歸任
▲伍堂卓雄氏(滿鐵理事) 同上
▲兒玉常雄氏(滿洲航空會社副社長) 同上
▲伊藤源助氏(會社員) 同上
▲後宮淳氏(滿鐵囑託將校步兵大佐) 同上
▲鬼塚新次氏(二等軍醫) 同上
▲太田外世雄氏(滿洲國總理秘書) 同上
▲田口利吉郎氏(立大教授) 同上來連
▲浦路耕之助氏(大每囑託) 同上
▲ミハイロフ氏(ソウエート大連領事) 同上
▲土肥顧氏(滿鐵人事課長) 四日出帆ばいかる丸にて內地へ
▲堀切音文氏(國士館大學教授) 同上
▲渡邊中氏(關東軍獸醫部長一等獸醫正) 着任挨拶の爲め四日各方面訪問

蛇角

◇蔣介石、讌逸の要人を集めて急遽對策協議。
◇議する處、素より山海關事件の善後策だが、格別の名案も出ないのは知れたこと。
◇先づ宋子文が新聞記者團に逆宣傳する位がおち。
◇寄らば斬るぞの日本の態度はトックに知つてる筈。
◇それを知つてチヨツカイを出すのはどうしたことか。
◇年改まつてさらに運命の鋼索を見る學良の前途やあはれ。

「滿蒙の戰慄」休載

けふ宮中 政始の儀
各國務大臣參列

【東京四日發】天皇陛下御政務を執らせ給ふ初の日を皇室儀制令にて政始の儀と御治定四日御恒例により宮中東一ノ間で此式を嚴かに行はせられた

午前十時に先き立ち齋藤首相以下各國務大臣倉富樞府議長一木宮相等は何れもフロック又はモーニングの通常服で參內東二の間に參入し天皇陛下には陸軍式御通常禮裝に大勳位副章御佩用、林式部長官の御前行、牧野內府、鈴木侍從長、奈良同武官長、侍從同武官供奉し參列諸員最敬禮中を同十時東一ノ間なる御儀の間に出御遊ばされた、正面玉座に著御相成ると内府、侍從長、武官長、柴田內閣書記官長、關屋宮內次官、宮內書記官順次御間の扉內に候し、侍從、同武官は扉外に控へて御儀に入るかくて齋藤首相は謹嚴なる足どり靜かに東一ノ間なる陛下の御前に參進

內閣總理大臣正二位勳一等功二級子爵齋藤實奏神宮祭主申昨昭和七年中神宮恒例臨時諸祭典總而無御滯被成遂行候事

昭和八年一月四日

と奏上次いで一木宮相は

宮內大臣從二位勳一等一木喜德郎奏昨昭和七年中宮中諸祭典總而無御滯被成遂行候事

昭和八年一月四日

と奏上、陛下には一々御うなづき遊ばされて御聽取同十一時御儀終了諸員最敬禮中に入御相成つた

赫々の武勳を殘し 長谷部々隊の凱旋
屠蘇氣分の新京を後に

【新京電話】滿洲事變勃發以來南嶺に寬城子に全滿各地に亘つて匪賊の大掃蕩を行ひ赫々たる武勳を殘し滿洲國建國を泰山の安きにおいた長谷部○團主力は屠蘇の醉ひ未だきめぬ四日午前十時四十分愈々懷しき駐屯地新京を去ることゝなつた、この日朝零下十八度、新京の空は隈なく晴れ各戶に翻へる日章旗も○隊の離京を惜むが如く見える、斯くて午前十時半商業學校、女學校等の分宿所前に整列、堂々と步武を揃へて晴れの凱旋第一步を新京驛に向つた、綾の如く折重なつた各種事件に遭遇し、新しき大同二年の新春を迎へた新京人は由緒深い我等の兵士を見送るべく續々と驛頭に集合した、手に〳〵日の丸の旗を持つた子供達、學生、一般住民達は勿論白髮の老人までが驛前の廣場に高く飾られた凱旋塔に過ぎし一年を顧み新興の熱に醉ひ進軍のラッパも勇ましく堂々と繰込む第○隊主力兵士に感激と感謝のまなざしを送つた、プラットホームに悠然と橫たへた臨時列車に主力は順次整然として乘込み荒木地方事務所長、高山警察署長等を始め新京在住の有力者在鄉軍人分會、婦人會の代表者の顏も群衆の中に見えた、萬歲の聲が一齊に起つた、頭上に打ふる日の丸の旗、別れの悲しみと喜ばしき晴れの凱旋、二つの感情が渾然として融和したゞ萬歲の叫びがあるばかりだ、發車のベルがけたゝましくなる、斯くて定刻列車の兵士は名殘惜い新京に最後の萬歲を浴びせ乍ら懷しい故鄉に錦を飾つて行く、一しきり起る萬歲又萬歲輝かしい兵士に幸あれ

滿洲の社會制度と 移民研究に
田口立大敎授來連

立大敎授田口利吉郞氏は四日入港あめりか丸で來連、船中語る

自分は社會學の方を擔當してゐる關係上、今度滿洲の社會制度と移民問題の研究に來た、そして歸路上海に廻り南支人と米國人が特に親しくする關係が妙だからその原因がどこにあるかを探究したい、勿論支那人のアメリカ貿易熱は大變なものでこれ等が歸國後アメリカと特に提携しようとするのであらうが、自分もコロンビヤ大學を出た關係で上海のアメリカ人中には知つたものもあるしよくその邊を話合ひ日本の態度などについても正々堂々と敎へてやる氣で居る約三週間位の豫定で奧地を見て上海に渡る

滿洲航空 副社長歸連

滿洲航空會社副社長兒玉常雄氏は約三ケ月に亘り東京大阪その他各地を廻つてゐたが四日入港あめりか丸で歸連、沖よりランチで上陸の上直に「はと」で奉天に向つた船中僅かなひまを語る

滿洲航空會社の方はお陰で着々効果をあげてゐるが何分草創の際の事とてまだお話しすべきところまで行つてゐない、今度の上京の用件はエヤーラインに使用する旅客機の注文と會社が出來て初めての上京なので各方面關係方面と繋つなぎをして來たのだ、今は主として日本定期航空會社の使用機と同じものを使用してゐる、とにかく色々な關係上今發表を差控へなければならない問題が多い

滿鐵經調會の 改造は必要
十河理事解消論を否定

滿鐵經濟調查會の改造又は解消論が社內に擡頭し委員長たる十河理事の滿連が待たれてゐたが、同理事も滿鐵歸任したので仕事始めとともに本問題は新しき展開を見るべしと期待されてゐる、これに對して十河理事は

經濟調查會をどうするかといふことは今の處全然考へてゐない、計畫部が出來たからといつて、同部は會社の仕事と定つた事業成立についての面倒を見るものでそこまでに到る基本的な調査立案は今まで通り經濟調查會が取扱ふのだから、兩者の間には自ら職能上の區別があり、經調の存在の意義は少しも傷けられてゐない、又經調の仕事は大部分濟んだといふ意見もあるやうだが、ロシアの五箇年計畫案があの永い年月を要したことを考へれば、一年位で調查立案が濟むものでなく經調の働くのはむしろこれからだ

と言明した、これによつて少くとも經調解消は實現せぬとは明白となつたが、過去一ケ年間の經驗により經調の現在の組織や機能に改造を加ふべしとの意見が部內に相當有力に唱へられてゐるので改造論の方は活潑な展開を見るものと信ぜられてゐる

反吉林部隊 頭目歸順

【樺樹三日發】舊滿洲國軍ボクラニチナヤの反吉林軍旅長賦慶祿は李杜丁超敗走の報に歸順の意を表するに至り一般に反吉林部隊の頭目は歸順の色濃厚でボクラニチナヤに到る東支東部線の敵は歸順又は遁走し皇軍は無人の野を行くが如く勇躍今や露滿東部國境に到達するも間もないことゝ見られてゐる

恩賜受療患者 感泣

【奉天電話】奉天に於て恩賜救療資金で現在滿大醫院に入院療養を受けてゐるものが四名あるが既に三名はこの溫かい惠みを受けて快癒しその有り難さに感泣してゐる又一名は傳染病で他に移された、こゝで療養を受けてゐるものは施療金なく出來るだけ我慢してゐる爲申出た際は何れも重患となり從つて快癒の月日、經費等多數を要するが現在までの患者は何れも一人につき三四十圓を要してゐると

新社員採用に
滿鐵土肥人事課長上京

滿鐵土肥人事課長および同課古賀人事係主任は新入社員採用のため四日大連出帆ばいかる丸で上京したが交々語る

先づ鐵道省から備ひ入れる技術屋を採用するがこれは既に羽田鐵道部長が上京して大體話をつけてあるからさう私達の手間はかゝらない、專門學校卒業以上の技術屋は七十六、七名採るが卒業席次五分一以上といふ條件を附したに拘らず四百三十名の申込がある、中等學校卒業の技術屋は約百名採用するが、これは最後の決定を見るのは大連に歸つてからだ、技術では土木方面を一番多く採用するが、歸連期は二月上旬の豫定だ、兎に角技術屋は頭が良くなければ困る

奉山線山海關 まで運轉

【奉天電話】奉山線は日支衝突の爲一時錦州迄旅客列車を運行してゐたが四月より山海關迄の乘車券を發賣し、一般旅客列車は平常通り運行、午前八時五十分發第一列車は十五分遲れて山海關に向つた

長谷部々隊 着奉

【奉天電話】事變來輾戰十有餘ケ月北に西に武勳を遺した長谷部○團本部は第○聯隊本部と共に四日午前九時十五分新京より着奉同十時安奉線にて凱旋の途についた

撫順對大連ア イスホッケー

三日中央公園で行はれた撫順軍對大連軍のアイスホッケー戰々績左の如し

大連一中3—1撫順中學
撫順滿鐵6—1大連二中
南滿工專3—2撫順中學
撫順滿鐵3—1大連滿鐵

メンバー	GK	BD	LD	RW	C	LW
二中	岩佐	末光	岡松	山崎	北田	山內
一中	淸岡 木谷	村井 片岡	木下	市川 田中	東根 百瀨	光田 田中
工專	北川	前橋	小泉	樋口	龜井	山田 田口
大滿	山野	秋月	織田	浦井	小寺	吉田
撫中	村田	笠井	江副	山本	石田	有山
撫滿	村田	佐山	吉塚	水谷	金河	阿部

競技審判及びタイムキーパー大賀、拓植（なほ大滿は大連滿鐵撫滿は撫順滿鐵、一中、二中は何れも大連）（寫眞は同試合）

滿洲航空會社の 日滿連絡初飛行
勇ましいM一〇七號の勇姿
恙なく處女航空路を突破

快晴に惠まれた

滿洲航空株式會社の手によつて行はれる奉天、大連間の日滿連絡初飛行は愈々四日より開始された、この初飛行に乘込んだ最初のお客樣は大連丁字屋洋服店主畑勘市氏奉天の矢田部節治氏及び新しいもののなら何でも逃さない村岡樂童氏の三人、薄暗い午前七時三十分、自動車で周水子飛行場に運ばれて來た、飛行士は都築操縱士、淺川機關士の二人ほか會社側一同冷酒をくんで乾盃し、エム一〇七號に乘じ同七時三十分爆音勇ましく離陸奉天に向つた、途中快晴に惠まれ初飛行は恙なく處女航路を二時間にして突破同九時三十七分奉天に到着した、同飛行機はこのほか大連より滿洲國行の郵便行嚢五個を運んだ、奉天よりは同じく午前十一時三十分發午後三時十分大連着の豫定で今日より奉天大連間定期飛行は日曜を除き毎日一往復行はれることゝなつた、なほ四日は日本航空飛行會社の內地行旅客も東京行一、福岡一、京城二、新義州二名あり滿員の盛況であつた

御用始
民政署と市役所

大連民政署では四日午前十時より貴賓室に於て署員參集の上御用始の式を擧行、永井署長の訓示に次いで署員一同を代表し華籍財務課長の答辭あり、閉式したがそれより自由退散となつた

◇大連市役所では四日午前十時より

大連署の初捕物
郊外荒し
寢込みを襲ひ逮捕

大連署の初捕物——謙て強盜容疑者として指名手配中の市外香爐礁三區嚴連濱（三六）が復州方面から舞ひ戾つたのを探知した大連署司法係強力班は四日午前五時ごろ寢込みを襲ひ逮捕した、右は昭和六年二月三日午前五時五十分ごろ香爐礁五十番地錢萬發方に押入り、家人を縛り上げ大洋十九圓を強奪した郊外荒しの強盜犯人で、犯行の全部を自白した

賣掛金橫領

市內信濃町六二番地食料品店米山商店店員楠野敏光（二）は數ケ月前から店主の眼を掠め得意先である市內久方町高橋珍平方の賣掛代金百三十八圓を橫領したのを初め外十數軒の得意先から千數百圓に

ダンス場で 現金竊取
餘罪取調中

三日午後十一時三十分ごろ市內大山通遼東ホテル七階ダンスホールでテーブルの上に在つた市內八幡町三五番地佐野方前田良子（三）の現金六圓三十錢其他化粧品入りのハンドバックを竊取し何食はぬ顏でホールを立ち退らうとする男をホテルの事務員加藤某が發見取押へ大連署に突き出した、この男は愛知縣豐橋市松葉町生れ住所不定岡田正雄（三）といひ餘罪多數の見込みで引續き取調中

上る集金を橫領しカフェーやダンスホールで消費してゐたことが年末決濟になつて發見され、店主の告訴によつて昨年末大連署に留置取調中であつたが四日業務橫領で一件書類と共に送局された

東亞新生會滿洲部

誰方でも一人で解決の出來ない苦みを持つて居られる方、基督敎の救を求めて居られる方は、本會を利用して下さい最善の方法をつくして御助力申上ます、先づ手紙を左記にお送り下さい

事務所　大連市薩摩町 双葉學院內

十六列車遲着

三日午後四時四十五分大連着の旅客第十六列車は同日午前十時十五分南率驛で三等車のカップラー破損解放のため五十五分同驛に停車、そのため二十五分大連驛に遲着した

荒木大尉等の 遺骨二十五體
けふばいかる丸で歸還

興安嶺の白雪を鮮血で彩り大和もの丶ふの花と散つた故工兵大尉荒木克業氏、客臘廿三日萬寶山附近における匪賊に爆撃を加へその歸路、新京飛行場に着陸せんとした刹那爆發によつて名譽の戰死を遂げた故航空兵大尉福島正夫氏をはじめ爆死八勇士その他各地においで名譽の戰歿者計二十五勇士は四日出帆ばいかる丸で變つた姿で凱旋した、これより先埠頭待合所で市主催の慰靈祭が行はれ、鬮の鋼めが冬空に溶けこんで行く、見送り千餘の市民は一樣に脫帽默禱してこの悼しき勇士の遺骨を見送つた

荒木大尉の 遺骨到着

十二月三日興安嶺で壯烈なる戰死を遂げた故荒木大尉、同二十三日新京で名譽の戰死を遂げた故福島航空兵少佐等十七位の遺骨は三日午後五時十分大連着の列車で來連したが途中金州まで出迎への記者に輸送指揮官富所航空兵中尉は語る

福島中隊長殿は實際惜しい人でした、在滿中隊長のうちで一番の若手であつたといふことだけでもその技倆なり人格が偲ばれます、大興安嶺攻擊の作戰には非常な偉勳をたてられたが本人ももつと華々しい戰爭で死にたかつたことだらうと思ひます

故荒木大尉の遺骨には令兄荒木捨久氏が附添つてゐたが「脫線機が成功したのでせめも死花を咲かせてくれました」としんみりと語り、また荒木大尉の當番兵として同大尉と行を共にした鐵道○隊小林上等兵は語る

十二日早朝昂々溪を出發一、二日共夜營なく進行をつゞけました三日午前十一時ブヘトを占領した時大尉殿は非常な好機嫌で「君と二人記念寫眞を撮らう」と言つて寫眞を撮して貰ひましたそして十二時半ごろブヘトを出發四キロ五百の地點に差かゝりました時前方の裝甲牽引車が歸つて來て荒木大尉殿の戰死を報告して來ました、それは丁度四時ごろでしたが私が驅けつけた時は既に大尉殿は戰死なされ腕時計が三時五十分で止まつてゐました

六十日間ハイラルに監禁され文字通り九死に一生を得た陸地測量部員川端侍郞氏は語る

遭難の模樣は滿日の(神藏)特派員ハイラルで詳しく話をしましたので御紙の十八日附の新聞にそれが出てゐました、なほ車中の人々は脫線機が成功した結果牽引車無事であることが出來たのでわが軍事行動もこのため支障を起すことが無かつた、この意味からしても荒木大尉の沈着な處置はわが軍に非常な利益をもたらしたものである

と口を極めて稱揚してゐた、かくて車がプラットホームに到着するや、山西滿鐵理事、田村陸軍運輸部大連出張所長、若月市會副議長在鄉軍人團はじめ市民各方面多數の出迎へ人は遺骨に最敬禮を行ひ富所中尉の挨拶あり、直に自動車で常安寺に遺骨は安置された、三日到着の遺骨左の如し

○○航空隊福島少佐他五體▲鐵道○隊荒木大尉▲關東憲兵隊佐藤軍曹▲獨立守備○隊尾野上等兵他一體▲步兵第○隊高橋上等兵▲同○隊稱市上等兵▲同○隊鈴木上等兵▲陸地測量部村上測量師他三體

步兵○隊將校 の年始狀

滿洲事變勃發以來新民屯から錦州一帶の地に進出幾多の勳功を現した步兵○○隊谷儀一大佐以下將校三十四名は連名で意氣軒昂な年始狀を各方面に發信、更に銃後の人々に對し一段の後援を要望して來た

藤井部長遺骨 歸鄉

さきに安奉線鳳凰城において殉職せる故關東廳巡查部長藤井貢氏の遺骨は四日出帆ばいかる丸で故荒木大尉等の英靈と共に鄉里に歸つた

旅順市長の 後任問題
各派の暗躍

旅順後任市長問題に當面する有給派の有志七十餘名は四日午後三時から聚德殿に集合、新年宴會を兼ねて有志の步調を固め目的遂行の懇談會を開催した、また米商、宅島商議議員は伴民政署長その他を訪問密談をなすところあつた、なほ現制度維持派も某所に會合協議會を開いた

戎克顚覆し 九名溺死

三日午前十時旅順會內山頭會屆子窩島を距る南方二十間の海上でかき取りに出かけた同村張學醴ほか十五名の戎克が顚覆男一名女八名溺死男一名行方不明となつた

河本理事退院

河本滿鐵理事は流感で三十一日以來大連滿鐵醫院に入院中のところ四日退院した

天氣豫報
北の風 晴一時曇り

各地氣溫 四日午前十一時
大連零下二　旅順零下一
營口同　七　奉天同　一三
新京同　一一

國難日本刀 (301)

高桑義生作　京極佳夕畫

仇敵邂逅(四)

文吉は呻つた。

かれはお千に愛着をもつてゐるのだ。彼女を捕縛するために、そのあとを附けつ廻しつ、狙つてゐるうちに、いつかお千の身體に、彼女の氣持に曳き摺られてゐた。

文吉といふ男、女房はあるが、女ぎらひといはれてゐた。女を見向きもしない、賄賂にも情にもほだされるといふ事は、聞かなかつた。冷血漢——血も涙もない、鬼といはれた男。その文吉の意外な戀、思ひつめた一心は——それだけに執拗なものだつた。

お千は、女の敏感さで知つてゐた。彼女はつよい。あくまで優越者の立場で、敵を、文吉を見下すことが出來るのだ。

文吉は機會を待つてゐた。

京都では——。

彼女の周圍に、浪士が雲のごとく集まつてゐる。役目で捕縛するならば、彼にも覺悟はあつたのだが——相手に、心のたけを通ずる機會は少なかつた。お千が桂とともに江戸に下つたあとを追つて來たのもそのため、小五郎からはなれて彼女一人となつた今こそ、最善の機會でなければならぬ。

が、お千の毅然、あいそづかしもこれ以上のものはあるまい。文吉は完全に打ちのめされた。

文吉は呻つたのだ。そして、

「ま、待つてくれ」

すると、

「お先に御免を蒙りませうよ」

とお千はほのぼのと笑つたのである、そして悠々と、踵をめぐらした。

「お千!」

くわッと取つ詰めた文吉、鋭く呼びかけた。お千は、振り向きもしなかつた。

(よしツ)

と心に叫んだ文吉は、本來の自明しに返つてゐた。しかも、愛に傾する憎惡が、猶をかきたてゝ、十手を握り、繩をさぐつた。

「吼え面かくなよ」

「おほゝゝ……」

勝ち誇つたお千の笑ひ聲き澁した。たゝッと、背後にせまつた。

お千は振返つた。短銃がかの女の右手に、ぴたりと、突きつけられた。

「あたしのこれに、まだ懲りないのかね」

十年の昔、伊豆柿崎の濱邊で、お千のために、脇腹を射ぬかれた文吉だ。が、彼はあざ笑つた。

「フン、撃つて見るがいゝ。そのピストルが役にたつものなら……」

「?……」

「ためしに、引金を引いて見れえよ。ズドンと鳴つたら、逆とんぼをしてお目にかゝらあ」

「な、なんだツて?」

お千はあわてた。引金をひいた。が、何の手ごたへもなかつた。

「はゝゝ……カチリと音がしたやうだれ。だが、役にはたゝねえ。そのはずだ。ピストルの彈丸はれえ」

「えッ」

「さすがのお千さん、千慮の一失といふもんさ。箱根の宿で、お前がいゝ氣持で湯につかつてゐる間に、ちよつと彈丸を抜いて置いたんだ」

「ちッ」

とお千は舌打をした。

「だから、いはれえ事ちやれえ。力と業では、到底おいらの敵ぢやれえ。悪い事はいはれえから、この邊で兜をぬいだらどうだ。惚れた弱味、せいぜい可愛がつてやらうといふものだ」

「ちえッ、くやしい」

「この繩が、お前の肌にくひ入りてえと呻つてらあ」

「誰が……」

といつたが、お千はぱツと土を蹴つた。身を翻した。

「おつとどつこい」

虚空を切つて、文吉の手もとからあざやかに繰り出された繩。

「あッ」

向ふ向きのお千の柔首に、繩はくるくるとからんで來た。

大劇の酒井雲讀物

大連劇場の文藝浪曲酒井雲一行の四、五日兩夜の讀物は左の如くである

▲四日　老母涙金時、水戸黄門[illegible]席菊水、坂崎出羽守正宗兼光　酒井雲

▲五日　男作の御殿、金時、水戸黄門[illegible]席菊水、[illegible]大郎　酒井雲

白蓮　入江プロ作品　映畫館上映

原作はサンデー毎日に連載された柳原燁子女史の半自傳風の物語、日活に居た木村千疋男、岡讓之介の脚色を木村恵吾がメカフオンをとり克明に描いて居る。

……◇……

美しい處女時代の初戀を捨て、筑紫の黄金王藤波麟太に何故白蓮が嫁さなければならなかつたか、そして結婚後冷酷無情な藤波が崇高な白蓮の眞實味に、人類愛にめざめて、生埋された炭坑の坑夫救出の決心を起すに至るまで、そして白蓮が黄金萬能の世界から再び別れた戀人の胸に歸るまでの數々の插話。

……◇……

息もつかせず昂奮させる手際、大作としての貫祿を示してゐる、樂しい初戀時代の美しさが悲劇的結婚の時ヒシと胸に迫り、列車の中から起つたこの物語が列車の中で終るのも好ましい手法である。

……◇……

入江たか子は根時代と白蓮時代共に演出出色の出來榮で、何と言つても白蓮役の第一人者、助演の由利健二、浦邊粂子も相當持役をこなしてゐる。

……◇……

青島順一郎のカメラは素晴らしい流麗さでこの映畫に好印象を植つけ、十三卷の長尺を大した破綻も見せぬ所、總ての人々の熱が見える、若い人達には文句なしに歡迎される映畫だ。

暴風帶　松竹蒲田作品　中央映畫館上映

朝日新聞に連載された下村千秋の原作長編小説を池田忠雄の脚色、清水宏の監督で映畫化したものであるが、原作を讀んだ人々には脚色が腑に落ちないだらう、この映畫の最も大きな缺點は(檢閲を考慮した結果かも知れぬが)池田忠雄の脚色にある

……◇……

清水宏の手法は例の如く坦々と筋を運んでゐる、配役では先づ奈良眞養の大場と澤蘭子の瀧子がよく、野村秋生の民坊は好感を持つて將來が期待されやう。江川宇禮雄の瀧川、川崎弘子の優子さもに性格描寫が不充分でこれもまた脚色の罪である

日活館の早朝興行

日活館では四日からメトロ超特作品「類猿人ターザン」を上映し第二週に入つたが、第一週の早朝興行の好成績に鑑み、四、五日の兩日に限り引續き早朝興行をなし午前十一時半までの入場者は階上階下とも三十錢引である

うわさ話

三ケ日の大連映畫街は各館ともによく客足を呼んでいよいよインフレ景氣に乗つて好調裏にスタートした▲映畫館に出演中の森静子の可愛い舞姿もいよいよ今夜限りで明日は旅順見物をして六日離連▲けふの入港船で常盤座の第二週に出演する木村時子の一行が花やかに來連▲一行中にその後舞踊家澤カホルが特別加入して來た▲生駒雷遊だけは東京の放送に引張られて一緒におくれ六日來連▲又常盤座の第三週は「地獄の天使」を上映する豫定